

# 研修費（竹村克司）出張報告書

令和7年8月24日

氏名 竹村 克司	研修会等題名 ① 「交流人口（観光客）増加のための施策、観光振興基本計画について」 ② 「産学連携、地域との連携、行政とのかわりについて」 ③ 「環境保全型農業について」
期間 令和7年8月20日から 令和7年8月22日まで	研修会等会場（市区町村名） ① 名護市②恩納村③那覇市

## 研修会概要・意見等

無所属市議会議員として2年半が経過しましたが、市議会議員としてもまだまだ勉強が足りないと感じていたところ、会派未来下関さんからお声がけ頂き、研修に参加させて頂きました。一つ目の視察は、名護市役所へ行き、「交流人口（観光客）増加のための施策、観光振興基本計画についての講義をして頂きました。

下関市は毎年3000人規模で人口が減少しており、今後も衰退の一途をたどろうとしています。名護市の人口は、63000人ですが、この10年で1400人増加しています。交流人口に関しては、美ら海水族館、ジャングリアの開業と観光資源が充実していることから、コロナ災害以前と同じくらい回復してきたとのことでした。それに加えて、名護市観光プロモーション動画の配信、他機関との連携したプロモーション活動を積極的に行い、名護市観光協会ホームページの機能強化を行い、また、観光資源を活用したコンテンツ開発、支援を行っており、地域一帯での観光マインドの醸成、観光人材拡充、コミュニティラジオを活用したイベントや観光政策を周知しており、市役所が町の先頭に立ち、努力をされていることがわかりました。下関市も名護市から学ぶことがたくさんあるのではないかと思います。今回学んだことを下関市に反映できるよう努力してまいります。

二つ目の視察は、国頭郡恩納村にある沖縄科学技術大学院大学で、広大な土地に、公用語は英語を使用し、国際的で沖縄及び、日本の経済成長の加速化に貢献しており、科学分野において優秀な人材を輩出しているのがこの施設の特徴です。すべてにおいて日本とは思えないほど国際的な施設で、素晴らしい大学でした。

三つ目は、沖縄県議会へ視察に行き、沖縄県における環境保全型農業について環境保全型農業推進と地域連携について学びました。環境保全型農業に関する方針を国が策定し、沖縄県でも、・化学農薬の使用量を50%低減、・化学肥料の使用量を30%低減、・有機農業の取り組み面積の割合を25%に拡大、以上を2050年までに、目指そうと取り組まれています。

無所属では行けない場所へ視察に行くことができ、さらに勉強しなければいけないと、実感しました。今回の視察を糧に地域に必要な政策や制度を提案できるよう、市民の皆様の意見を聞き、安心して暮らせる街にするために努力してまいります。